

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの関係で、個人客の動きが非常に悪かったが、夏休みの期間にかかり、安近短ではあるが旅行需要が戻った感がある。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・夏物より単価の高い秋冬物が徐々に動き出した。
		一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・料理店の得意先が増えて、売上が先月に比べて伸びている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・ギフトは前年比118%前後で推移していて、単価も3000円を中心に良く売れていた。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・今夏は特に暑かったので客の数が多かった。表情も明るく、単価も少しは上向きである。
		一般レストラン（経営者）	それ以外	・祭やイベント等がかなり増えていて、売上が良くなっている。
		タクシー会社（営業担当）	競争相手の様子	・同業他社が、会社の方針で車の台数を減らしているため、その分当社に振り分けられたと思っている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・宿泊、アミューズメント施設は、ほぼ前年並みか若干下回って推移しているが、3か月前と比べると賑わいはある。
		美容室（店長）	お客様の様子	・景気と関係なく、自分のストレス解消や結婚式があるといった理由で客が来ている。
	変わらない	商店街（代表者）	それ以外	・業種によって良くなっているところとそうでないところが顕著になっている。飲食店関係が良いようだが、物販関係は両極端に分かれてきていることを耳にする。
一般小売店〔鮮魚〕（店員）		来客数の動き	・さまざまな販売促進策を考えて実行しているが、なかなか来客数が増えない。	
百貨店（営業担当）		単価の動き	・依然として客単価の下落傾向が続いている。	
百貨店（営業担当）		来客数の動き	・売上、来客とも、前年比2～3%増で推移している。ただ、お盆以降は来客、売上とも若干少なくなっている。	
百貨店（業務担当）		お客様の様子	・商品の単品購入が目立ち、購入に対して慎重な傾向は変わっていない。力強い回復感はない。	
スーパー（店長）		単価の動き	・食品以外の夏物の処分量の単価が、競合店の影響もあって去年の夏よりも一層低下している。	
スーパー（総務担当）		単価の動き	・来客数は昨年より伸びているものの、客単価は伸びず、売上は伸び悩んでいる。	
スーパー（企画担当）		お客様の様子	・中元繁忙期で売上の高い8月であったが、大手食品メーカーの偽装問題により今まで回復基調にあった食の信頼が失われ、再び大幅な減退傾向になっている。	
コンビニ（エリア担当）		来客数の動き	・思うように売上が伸びず、昨年比90%の結果になる見通しである。本来ならロードサイド型の店舗は客数が増える傾向があるが、今年は動きが鈍く、客数、客単価ともに昨年を下回っている。	
衣料品専門店（商品担当）		単価の動き	・客数の減少に加えて客単価が先月より250円下がっている。今後も回復するめどが立たない。	
乗用車販売店（管理担当）		販売量の動き	・自動車のモデルチェンジ等はあったが、客の出足、車の売れ行き、販売量、売上高ともに良くなく、前年比約95%である。低位安定という状況である。	
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）		販売量の動き	・セルフガソリンスタンドの数も増え、顧客がセルフに慣れたこともあり、安値志向が増えている。今後は価格で顧客が買う店を決めるであろう。	
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）		競争相手の様子	・同業他社も新規出店、思いきった販売策を保留しているため変わらない。少しでも上向きになったら出店や販売策をとるようだが、今は様子見という感じである。	
その他小売〔雑貨卸〕（総務担当）		販売量の動き	・お盆商戦でも消費者の財布のヒモは堅く、ほとんど前月と同じである。	
都市型ホテル（副支配人）		単価の動き	・安い単価の方から売れていく傾向が強い。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		タクシー運転手	来客数の動き	・前半は地方の祭りなどのさまざまな催物があったが、それが終わった後半は客が全く動かなくなった。暑さのせいもあったと思う。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・8月の販売が、ブロードバンド系商品を中心に通常ベースを20%程度下回っている。夏休みの影響かと思われる。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・団体客数が前年実績より落ちている。個人客は前年とあまり変わりはない。ゴルフ場は客数が目に見えて減っている。特に平日の減少率が大きい。
		ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・単価が安いところに消費者は流れていっている。
		設計事務所（所長）	単価の動き	・建築業者からの設計依頼が、人件費が出るか出ないか程度の単価である。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・他社メーカーとの競争が激しく、客の値引要求も厳しい状況が続いている。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・中元商戦に期待をかけていたが、前半に比べて後半の落ち込みがひどかった。商店街の内外でまた空き店舗が増え、非常に寂しい状況である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街は空調設備がないため、客に不快な思いをさせている。ホテルへの納品を通じて感じるのだが、最近のサラリーマンは日帰り出張が多く、ホテルなどでの食事が一切ない。
		百貨店（売場主任）	競争相手の様子	・同業のライバル大型店が閉鎖したままで、まだ再開していない。また、2、3の地元スーパーが倒産している。
		百貨店（売場担当）	単価の動き	・夏物のセールが終わり、秋物商品を少しずつ出しているが、例年と比較して商品を見ないで素通りする客が多い。来客自体は去年から減っていないが、実際に商品を手に取って探す客が減っている。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・7月頃から来客数の減少傾向が若干拡大しているようで、今月は来客数が前年比約94%である。購買率も若干のダウン、ただし、購買客単価は前年実績を若干上回っている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・少しの贅沢品も明確な理由がないと購入しなくなっている。単に安だけでは商品がなかなか動かない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・中元の1点あたり単価と送付件数がダウンしている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・単価が昨年より5%ダウンしている。特にお盆商戦のダウンが著しい。ギフト関係が約7%、線香、ろうそくが10%、花火が5%と、地域行事関係の商品単価が大幅にダウンしている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・飲食街にある店舗では、飲食店の従業員が客として来ているが、閉店している店も多く、従業員が出社していないので、客が少なかった。
		コンビニ（販売促進担当）	来客数の動き	・オーナーから「最近売れなくなった、特に朝昼夕方の一番稼ぐ時間帯で客が減少している」という話をよく聞く。2割ほど減少している店舗が多かった。
		衣料品専門店（店員）	単価の動き	・8月はセールなので買上単価が低くなっている。かといって買上点数が増える客は従来よりかなり減っており、全体の単価ダウンになった。
		家電量販店（企画担当）	お客様の様子	・人出は多いようだが実売に結びつかない。
		その他専門店「医薬品」（従業員）	販売量の動き	・特売をしても売れる量が以前ほどなくなった。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・例年夏場は客数が少ないが、今年は例年以上に少なく、徐々に落ち込んでいる。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・特にディナータイムの客数の減少が目につく。
		スナック（店長）	お客様の様子	・例年になく暑さが厳しかったので、ピヤガーデンは繁昌したが、その分スナックや居酒屋は不況だった。お盆の帰省客も頼りにならなくなっており、予約もなかった。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・サッカーワールドカップ以降、客足がずいぶん落ち込んでいる。売上の前年比もマイナスとなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		タクシー運転手	来客数の動き	・夜の動きが悪い。客の帰りが早く、バスの時間に合わせているようだ。とくに歓楽街において人通りがかなり減っている。	
		パチンコ店（店員）	来客数の動き	・夏休みということで主婦層が減ったように感じた。	
		競輪場（職員）	来客数の動き	・8月は例年であれば公営競技、競輪、競艇の来客は増えるのだが、今年は通常の月と変わらない。	
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客のカットの周期が長くなるとか、今までは染めていたのをカットだけで済ませるなどで、単価が低くなっている。	
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・客が持ってきた企画、計画等が銀行の融資待ちで延期になったり、取り止めになったりしている。	
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・新聞広告、折り込みチラシによる集客方法では反応が鈍く、来客数は前年同月の半数に近い。	
		悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が減っていることに加え、販売価格も下がっており、なかなかいっぺんに買ってもらえない。消費者も吟味しているようだ。
			衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・年々商店街の客離れが加速しているが、今年の夏は特にひどく、中元商戦もまったく期待外れであった。盆以降も来客が全く途絶えている。
	衣料品専門店（経理担当）		お客様の様子	・店頭には客は来るが、見るだけで買って行くことは少ない。	
	乗用車販売店（経営者）		単価の動き	・春先には100万円くらいの車を求める客が多かったが、現在は半分の50万円くらいである。ボーナスが出ていない企業が多いこともあって非常に悪い。	
	乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・8月は赤字決算で組まれているにもかかわらず、受注件数が悪く、赤字が膨らみそうで怖い。	
	高級レストラン（経営者）		来客数の動き	・店が海岸にあるので例年8月は個人客が多いが、今年は昨年と比べて非常に少なくなっている。	
			スナック（経営者）	来客数の動き	・8月はお盆が週の間に入ったので9連休をとった客が多く、売上は前年同月比で約4割減である。
	企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
農林水産業（従業員）			受注価格や販売価格の動き	・BSE発生から1年弱になるが、価格等をみると信頼も回復している。	
建設業（総務担当）			取引先の様子	・小規模ではあるが、既存の取引先で店舗改装などの工事受注が増えてきた。また、病院の増築等の見積り依頼も受けている。	
変わらない		通信業（経理担当）	それ以外	・大手百貨店の閉店問題が浮上してきたが、スーパー関連が安定してきたので少しは上向きになるのではないか。	
		農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・BSEに関連した食肉業界の偽装問題で消費者の不安感等があり、反動で鶏は効果が見られている。ただし、そのせいで原料不足になり、思うように売上が上がっていない。	
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連全般の量的な動きは変わらないが、大手半導体メーカーでも企業によっては、だいぶひどくなっており、輸出向けの動きが鈍くなっている。	
		建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・公共工事、特に土木工事の工事量が全体的に少ない。官庁の土木工事のウエイトが高い企業ほど、厳しい経営環境にあるようだ。	
		建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注額は増加しているが、依然として価格競争が激しく、利益確保が難しい。	
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・IT関連で先行きを懸念する声がかかる。百貨店等でブランド品の売れ行きに陰りが出ている。	
やや悪くなっている		その他サービス業[物品リース]（従業員）	それ以外	・受注量は相変わらず低調であるが、経営破たんしたスーパーの再生計画もまとまってきたので、前向きな話が出ている。	
		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・景気は少しずつ上向いていると報道されているが、当業界では6月は過去最低で8月まで上向きではな	
		金属製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・全社的な営業の契約会議に参加しているが、大きな案件全体が少ない感じがする。	
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月に入って半導体の動きが止まり、大変心配している。台湾の受注キャンセルなどの影響が出ているようである。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3か月前に比べて人員が減っているにもかかわらず、ほとんどの人が定時で帰っている。現場の作業も以前に比べ早く終わるようになり、時給も減っている。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・半導体が動いていたが、今月から動きが悪くなっている。代わりに動くような商品も今のところ特にない。
	悪くなっている	繊維工業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・低価格競争が依然として激しさを増している。問屋や製造業の販売も辛い状況が続いている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・先月、先々月よりも受注が悪く、特に昨年度と比較すると2～3割減になっているところが多い。注文はしても、引き取りにこない商社もある。問屋の倒産や小売店の倒産など、商社の受注に対する引き締めがきついに思われる。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・飲食店に酒を納めているが、客の注文が半分に落ちている。安い品物も落ちており、儉約して酒自身が売れていないという声が飲食店から上がっている。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	民間職業紹介機関（支店長）	周辺企業の様子	・製造業の一部、半導体などで以前より少し改善が見られるようである。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・商談件数は増加傾向にあるが、条件は極めて厳しい。長期安定のオーダーが少なくなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求職者数が3か月前とほとんど同数で、動きがない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者が依然として前年同月を上回っている。新規求人も4か月連続で増加しているが、大口の求人は業務請負、派遣、パートである。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者、有効求職者とも増加傾向にある反面、求人は微増にとどまっている。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・中国産の健康食品による死者が出た事件で、健康食品の訪問販売系の売れ行きにかなり影響が出て、求人活動が停滞している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・いろいろな企業の人事担当者とは話をしたが、大半の企業から良くないという話が出ている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・高卒求人の出足が鈍く、7月末で前年比15%減である。不景気で離職職者が出ず、高卒者の採用計画が立てられないとの話もある。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・非自発的離職者が増加している。
	悪くなっている	-	-	-